

大津久佐衛門仁平俊之介両先生しょうとく 頌徳碑

水戸市元吉田町 1757-1（水戸市立吉田小学校）

JR水戸駅から南へ約2.7km、水戸市立吉田小学校の駐車場内にこの頌徳碑が建っています。明治時代の終わりから大正時代にかけて、東茨城郡吉田村の吉田尋常高等小学校に在職した大津久佐衛門先生と仁平俊之介先生を顕彰して、当時の同窓会によって、昭和3年（1928）に建てられたものです。

碑文によると、大津久佐衛門先生は、校長として明治40年（1907）に赴任し、大正6年（1917）まで、10年にわたり勤務しました。その間、尋常小学校の教育のみならず、補習教育にも尽力し、農業補習学校を設立しました。さらに同窓会の青年会・処女会等を計画し、これら諸団体と力を合わせ、教育施設の改善等を成し遂げました。さらに軍人分会の指導にも尽力し、村の発展に大きく寄与したと伝えています。



仁平俊之介先生は、明治33年（1900）から大正11年（1922）まで、22年にわたり、他の先生とともに歴代の校長を補助し、同窓会青年会・処女会を指導したようです。そして、村内様々な教育にも尽力し、校風の改善に努めたことを伝えています。

明治時代初期の学校制度の成立期に活躍をした学校教員の顕彰碑は、県内でも数多く見られますが、学校制度が安定した時期の教員の顕彰碑はそう多くはありません。吉田小学校にあるこの頌徳碑は、それだけ両先生の活躍が顕著であり、当時の吉田村の人たちにとっても忘れられない、かけがえのない先生であったことがうかがわれるものではないでしょうか。

茨城教育 第八六一号

令和元年十月二十日発行

編集責任者 樋口 浩史

発行人 樋口 浩史

発行所 一般社団法人 茨城県教育会

水戸市見和一 一三五六一二

電話 〇二九一三一一二七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所